

ディビジョン番号	19
ディビジョン名	化学教育

大項目	2 初等中等教育
中項目	2. 1 化学の教育課程
小項目	2. 1. 1 授業時数

概要																																																													
<p>現行の学習指導要領下での小中学校理科の授業時数は、昭和 40 年代の約 2/3 である。このような状況下では、授業時間内に十分な実験や観察を行うことができず、現場からの授業時数の不足を訴える声は大きい。</p>																																																													
背景																																																													
<p>小中学校の授業時数は、学校教育法施行規則（第 24 条・第 54 条）の中で定められており、理科に関しては表のとおりである。</p>	<p>小学校理科授業時数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>時数</td> <td></td> <td></td> <td>70</td> <td>90</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>350</td> </tr> </table> <p>中学校理科授業時数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>時数</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>80</td> <td>290</td> </tr> </table>		1	2	3	4	5	6	計	時数			70	90	95	95	350		1	2	3	計	時数	105	105	80	290																																		
	1	2	3	4	5	6	計																																																						
時数			70	90	95	95	350																																																						
	1	2	3	計																																																									
時数	105	105	80	290																																																									
課題・問題点																																																													
<p>平成 10 年告示の学習指導要領下での理科の標準授業時数は、小学校で計 350 時間、中学校で 290 時間であり、昭和 43・44 年告示の学習指導要領下の授業時数（小学校 628 時間、420 時間）と比較して 3 割近く減らされている。</p> <p>これらの比較は単純に「理科」の年間授業数を比べただけで、生活科や総合学習・選択理科あるいは週休 2 日制の影響は考慮していないが、現場から現実の問題として授業時数の不足を訴える声は大きい。</p> <p style="text-align: center;">理科の授業時数（年間）の変遷</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>昭和 33 年</td> <td>昭和 42. 44 年</td> <td>昭和 52 年</td> <td>平成元年</td> <td>平成 10 年</td> </tr> <tr> <td>小 1</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小 2</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小 3</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>小 4</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>小 5</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>小 6</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>中 1</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>中 2</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>中 3</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>105~140</td> <td>80</td> </tr> </table>			昭和 33 年	昭和 42. 44 年	昭和 52 年	平成元年	平成 10 年	小 1	68	68	68			小 2	70	70	70			小 3	105	105	105	105	70	小 4	105	105	105	105	90	小 5	140	140	105	105	95	小 6	140	140	105	105	95	中 1	140	140	105	105	105	中 2	140	140	105	105	105	中 3	140	140	140	105~140	80
	昭和 33 年	昭和 42. 44 年	昭和 52 年	平成元年	平成 10 年																																																								
小 1	68	68	68																																																										
小 2	70	70	70																																																										
小 3	105	105	105	105	70																																																								
小 4	105	105	105	105	90																																																								
小 5	140	140	105	105	95																																																								
小 6	140	140	105	105	95																																																								
中 1	140	140	105	105	105																																																								
中 2	140	140	105	105	105																																																								
中 3	140	140	140	105~140	80																																																								

対処方法・解決方法の提案

少ない授業時数で多くのことを教えようとする、どうしても実験観察を省略したり、知識伝達型の授業に陥りやすくなり、理科離れを助長しかねない。いずれの学年についても、授業時数の十分な確保が望まれる。

なお現状でも、選択教科として理科を中学1年時に30時間まで、2、3年時に70時間まで開設できることになっているが、これを選択する生徒が生徒全体の一部であることを考えると、選択教科そのものの役割は高く評価できるものの、まずは、通常の理科の時間の確保が優先されるべきである。

今後推進すべき課題

- ・ 授業時数の確保
- ・ 生活科の中での理科的内容の充実

主要参考文献

- ・ 教育小六法 2006 (学陽書房)
- ・ 文部科学省ホームページ
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/03100701/021.htm
- ・ 国立教育政策研究所ホームページ
<http://www.nier.go.jp/kiso/sisitu/siryou1/2-02.pdf>

キーワード

理科、授業時数、学校教育法施行規則

(執筆者： 鎌田 正裕)